

平成22年度事業評価シート(ハード事業)

NO. 94

評価2 ハード

1 事業名等(Plan 1)

事業名	歴史的町並再生無電柱化事業											
所属名	教育委員会 文化財課 文化財グループ											
第七次総合計画	政策	5	「ゆたかさ」のあるまちをめざして	分野	4	文化	基本施策	1	郷土の歴史や伝統文化を守り次代に伝える	施策	1	文化財などの保存・継承
予算科目	9	4	7	文化財	費	94758	歴史的町並再生事業					事業
					費							事業
					費							事業
根拠条例・実施要綱・担当部門計画等	高山市文化財保護条例、下二之町大新町保存計画											
事業の実施主体	○ 市		市以外→									
事業の実施方法	○ 直営		指定管理		業務委託		団体等補助		その他→			

2 事業の目的・概要(Plan 2)

目的は対象(何を、誰を対象に)と意図(対象をどういう状態にしたいのか)を、概要は実施手法、手順等を記入

目的	誰のために(対象)	一般市民観光客	受益者数	4,136,231 人
目的	対象をどういう状態にしたいのか(意図)	平成16年度に実施した「全国都市再生モデル調査」の報告を基に、下二之町大新町伝建地区の環境整備を実施する。		
概要	事業の実施手法、手順	伝建地区の無電柱化、側溝修景		
概要	事業始期・終期	始期: 18 年度から	終期: 24 年度まで	設定なし
今年度の改善・改革ポイント	前年度の評価結果、指示事項等を踏まえ記入 下二之町工区を年度内に完成させた。 大新町表参道工区は共同溝の埋設完了。側溝工事も整備予定の3/4を完了			

3 事業費の推移・結果(Do)

区分		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
総合計画計画額(当初)		100,000	100,000	198,000	206,000	207,000	
総合計画計画額(計画額)		200,000	210,000	198,000	206,000	207,000	
財源内訳	事業費	195,000	221,000	198,000			
	(計画・予算・見込・決算額)	決算・見込	184,041	212,867			
	国庫支出金	予算額	85,680	93,330	91,200		
		決算・見込	82,683	65,450			
	県支出金	予算額					
		決算・見込					
	地方債	予算額					
		決算・見込					
	受益者負担	予算額					
		決算・見込	2,151	2,386			
繰入	予算額						
	決算・見込						
一般財源	予算額	109,320	127,670	106,800			
	決算・見込	99,207	145,031				
H17国勢調査		96,231 人	32,174 世帯	※コスト→行政活動の単位当たり経費算出、変動を経年比較により、効率性評価			
コスト指標	受益者負担率(受益者負担/事業費) 単位 %	1.17	1.12				
	市民1人当たりコスト(事業費/H17人口) 単位 円/人	1,912	2,212				
	1世帯当たりコスト(事業費/H17世帯) 単位 円/世帯	5,720	6,616				
	受益者1人当たりコスト(事業費/指標) 単位 円/人						
	↓ その他(空欄にコスト指標名記入、事業費をベースとして単位当たりコストを算出) 単位 円/人						

(成果面)

活動・成果指標	指標名	資料・出展算出式						単位	m
		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
活動指標	目標値	—	—	570	770	970		↑	
	実績値	360	450	570					
	達成率	—	—	100.0	0.0	0.0			
成果指標	目標値	—	—					↑	
	実績値								
	達成率	—	—						

3 事業費の推移・結果(Do)

前年度までの実績(累計)	対象・手段	下二之町工区完了。 大新町表参道電線共同溝埋設完了	539,321 千円
	事業費	(内容)	千円
	その他	千円	
本年度	対象・手段	大新町表参道工区完了 千島松本線電線共同溝埋設、側溝美化	198,000 千円
	事業費	(内容)	千円
	その他	千円	
受益者負担	4,537 千円	(内容)	千円
		電線管理者の工事負担金	

4 分析・評価(Check)

①事業の目的評価(事業の目的・概要に対する妥当性から事業の必要性を評価)	歴史的景観保護の重要性も高まっており、地元からの要望も非常に強い。	判定 A:非常に高い B:高い C:低い D:非常に低い	目的評価 A
②コスト面評価(事業の推移、コスト指標の結果からコスト面を評価)	当該項目「1」入力(注 平成20年度から平成22年度第一四半期までの推移から判断)	減少 維持 1 増加	③コスト面 増加 維持 減少 拡大 維持 減少 減少
③成果面評価(活動指標・成果指標から成果面を評価)	当該項目「1」入力(注 平成20年度から平成22年度第一四半期までの推移から判断)	拡大 1 維持 減少	コスト・成果ポジション B 第2水準

目的評価「A・B」かつコスト・成果「第1水準」	→ I 「良い」	良好な水準を維持
目的評価「A・B」かつコスト・成果「第2水準」	→ II 「やや良い」	「I」の水準に向けた改善が必要
目的評価「A・B」かつコスト・成果「第3水準」	→ III 「普通」	「II」の水準に向けた改善が必要
目的評価「A・B」かつコスト・成果「第4水準」	→ IV 「やや良くない」	「III」の水準に向けた改善が必要
目的評価「C・D」もしくはコスト・成果「第5水準」	→ V 「良くない」	「IV」の水準に向けた改善もしくは事業の休止、廃止などの検討が必要

5 今後の方向性(Action)

評価結果に対する改善提案(下記チェック)	計画どおり <input checked="" type="checkbox"/> 改善・継続 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/>
活動の方針	計画内に完了するために、効率的に工事を進める。
次年度実施方針	計画内に完了するために、効率的に工事を進める。

項目	評価内容(算定式)	進捗率
進捗	整備見込 120 / 整備目標 120 単位 m	100.00
	決算見込 / 予算額 198,000 単位 千円	
事業の進捗率の考え方	整備累計 570.00 / 全体計画 970.00 単位 m	58.8
	累計 737,321 / 全計画額 1,150,321 単位 千円	64.1
進捗結果・理由	整備延長に基づいて考える。 総整備延長970mのうち、H21年度下二之町工区完了。大新町表参道工区では電線共同溝の埋設を完了。本年度は表参道工区を全て完了させ、千島松本線に電線共同溝を埋設並びに側溝修景を実施する。	
該当項目に「○」表示	○ 計画どおり □ 未達成	

総合評価		
コスト	成果	評価区分
高	高	III
「II」以上の水準に向けた改善が必要		
飛騨高山のもっとも重要な地域資源を守るためにも本事業は重要であり、継続していく必要がある。また、新たな工法などについての情報収集に努め、更なるコスト削減を図る必要がある。		